

# 令和6年度第15回ヨコハマeアンケート

## 起業家・スタートアップ企業が生み出す新製品・サービスの体験や支援の取組に関するアンケート

実施期間 令和6年10月25日（金）から11月4日（月）

事業所管課 経済局イノベーション推進課

回答者数 756人（回答率：15.9%）

【参考】eアンケートメンバー数 4,755人（10月25日時点）

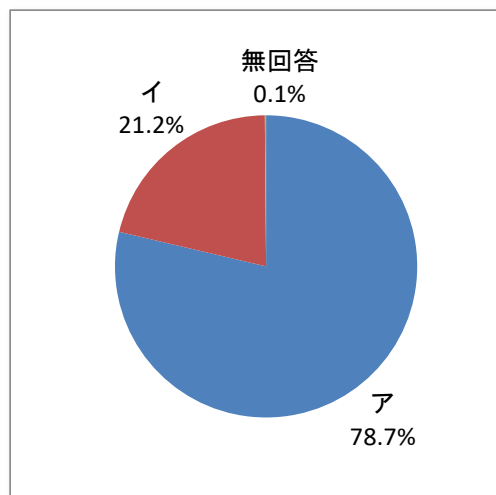
年代別、横浜市内在住・在勤・在学別の回答者構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
横浜市内在住	0 (0.0%)	11 (1.5%)	37 (4.9%)	99 (13.1%)	225 (29.8%)	209 (27.6%)	173 (22.9%)	754 (99.7%)
横浜市内在勤	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	2 (0.3%)
横浜市内在学	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
計	0 (0.0%)	11 (1.5%)	38 (5.0%)	99 (13.1%)	225 (29.8%)	210 (27.7%)	173 (22.9%)	756 (100.0%)

Q1 スタートアップがどのような企業か知っていますか。  
【スタートアップについて】  
イノベーションや新たなビジネスモデルの構築、新たな市場の開拓により、創業から短期間で急成長を目指す企業です。例えば、次のような製品・サービスを提供する企業があります。  
・「ドローン」：遠隔操作により上空から撮影したり、飛行して物を運搬したりする機械  
・「フリーマーケットアプリ」：不用品等をスマートフォン上で売買できるアプリ  
・「タクシーの呼び出しアプリ」：スマートフォンでタクシーを呼び出したり、料金を支払ったりできるアプリ  
(単一選択)

n = 756

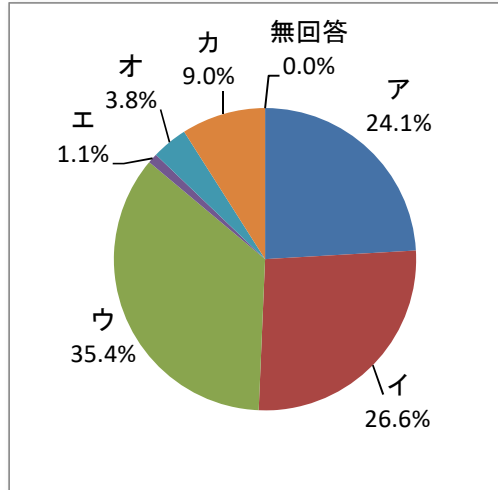
ア	知っている・聞いたことがある	78.7%	595
イ	知らなかった	21.2%	160
無回答		0.1%	1
		100.0%	756



**Q2** スタートアップ企業が世の中にどんどん出ていくことについて、どのようなイメージを持ちますか。  
(単一選択)

n = 756

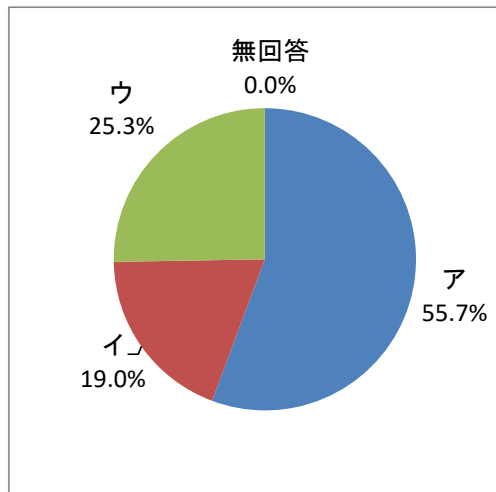
ア	新しいものが増える	24.1%	182
イ	便利になる	26.6%	201
ウ	活気が出る	35.4%	268
エ	豊かになる	1.1%	8
オ	ワクワクする	3.8%	29
カ	この選択肢の中にはない・わからない	9.0%	68
無回答		0.0%	0
		100.0%	756



**Q3** 横浜のキャッチフレーズとして「港湾都市」「文化芸術都市」などがありますが、同じように「スタートアップが集まるまち」は横浜のイメージに合ったものだと思いますか。  
(単一選択)

n = 756

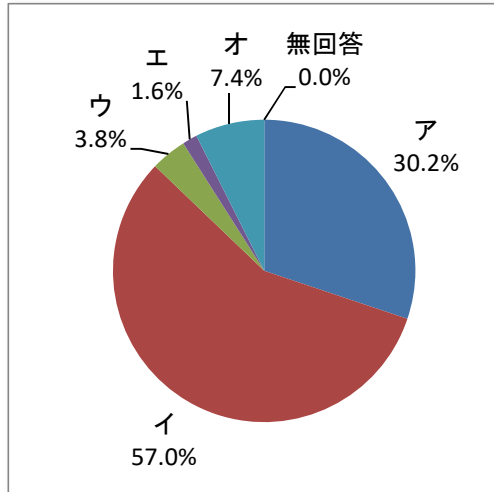
ア	そう思う	55.7%	421
イ	そう思わない	19.0%	144
ウ	わからない	25.3%	191
無回答		0.0%	0
		100.0%	756



**Q4** スタートアップは新製品・サービスを開発する際に、社会にどのくらいニーズがあるか、課題があるかを知りたいです。モニターやアンケートなどで協力することに対して、あなたはどのように考えますか。  
(単一選択)

n = 756

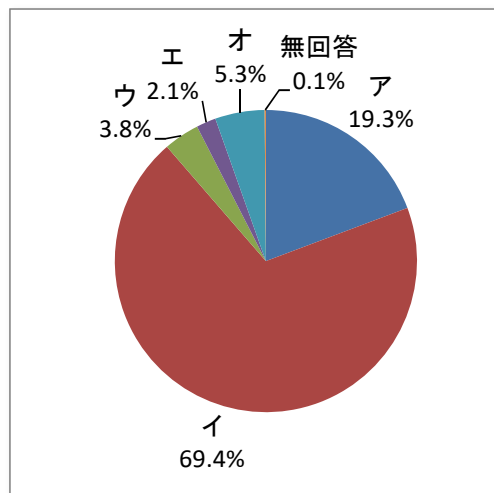
ア	積極的に協力したい	30.2%	228
イ	協力してもよい	57.0%	431
ウ	あまり協力したくない	3.8%	29
エ	関わりたくない	1.6%	12
オ	わからない	7.4%	56
無回答		0.0%	0
		100.0%	756



**Q5** (Q4の関連)  
開発中の試作品(新製品・サービス)について、複数体験できる展示会や実証実験のイベントを横浜の都心部で実施するとしたら、あなたは参加したいですか。  
(単一選択)

n = 756

ア	ぜひ参加したい	19.3%	146
イ	内容によっては参加するかもしれない	69.4%	524
ウ	あまり参加したくない	3.8%	29
エ	参加したくない	2.1%	16
オ	わからない	5.3%	40
無回答		0.1%	1
		100.0%	756



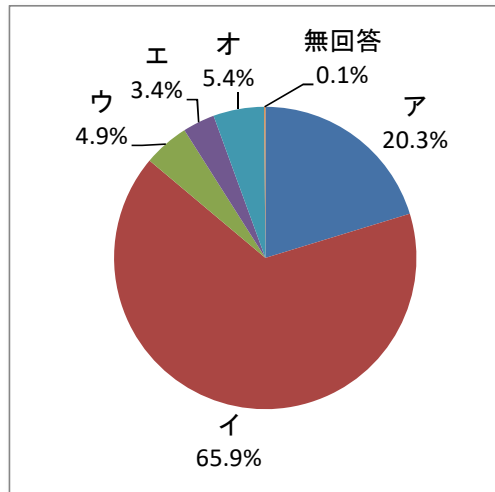
Q6

(Q4の関連)

開発中の試作品(新製品・サービス)について、ウェブページやメールマガジン、SNSなどから特徴や機能を見ることができて、あなたが評価や意見を投稿できる仕組みがあるとしたら、あなたは参加したいですか。  
(単一選択)

n = 756

ア	ぜひ参加したい	20.3%	153
イ	内容によっては参加するかもしれない	65.9%	498
ウ	あまり参加したくない	4.9%	37
エ	参加したくない	3.4%	26
オ	わからない	5.4%	41
無回答		0.1%	1
		100.0%	756

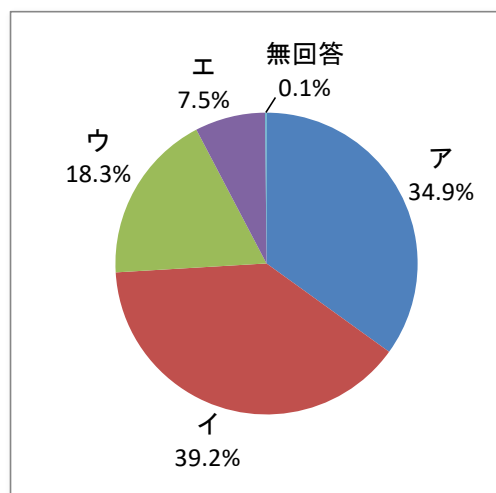


Q7

Q5の展示会や実証実験、Q6のオンライン上で評価する仕組みに参加する場合、どのような条件であれば参加したいと思いますか。  
(単一選択)

n = 756

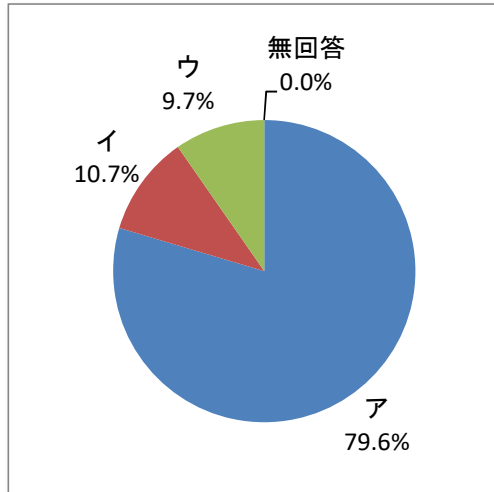
ア	無償でも参加する	34.9%	264
イ	多少でも景品や特典があれば参加する	39.2%	296
ウ	モニターとして適切な報酬が得られるならば参加する	18.3%	138
エ	報酬の有無によらず参加しない	7.5%	57
無回答		0.1%	1
		100.0%	756



**Q8** 自動運転の乗り物や、自分で判断して動くロボットなどの実証実験が身近なところで行われる場合、どのように感じますか。  
(単一選択)

n = 756

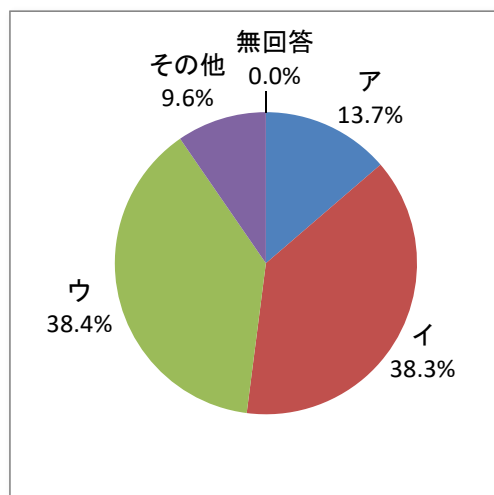
ア	面白いと思う (Q10へ)	79.6%	602
イ	特に何も感じない(Q10へ)	10.7%	81
ウ	怖い・嫌だ (Q9へ)	9.7%	73
無回答		0.0%	0
		100.0%	756



**Q9** Q8でウと回答された方にお尋ねします。どのようなことがあると安心して実験を受け入れられますか。  
(単一選択)

n = 73

ア	十分な事前説明	13.7%	10
イ	公的機関による安全性の認証	38.3%	28
ウ	万が一の際の適切な補償	38.4%	28
その他		9.6%	7
無回答		0.0%	0
		100.0%	73



その他(抜粋)

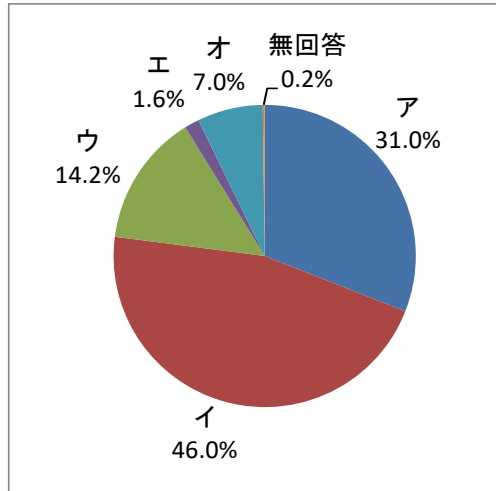
限られた範囲での実験。教習所や研究所、サーキット場など。

厳格なセキュリティ保全 安全性の確保、安全サポート、段階的な実証実験の計画、交通量、天候、時間帯等々さまざまな条件で実施。

**Q10** 近年、若いうちに起業を志望する方が多く、20代で起業するという方も珍しくありません。もし、あなたの家族や親戚など、身近な若い人が起業したい・起業すると言ったらどのように感じますか。(単一選択)

n = 756

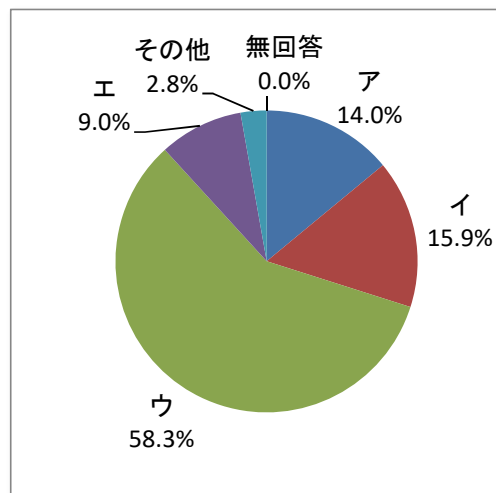
ア	自身も力を貸すなど積極的に応援したい	31.0%	234
イ	責任をもって自分の力でがんばるとよい	46.0%	348
ウ	失敗することへの不安がある	14.2%	107
エ	起業家以外に進んでほしい道があるなどの理由により応援できない	1.6%	12
オ	この選択肢の中にはない・わからない	7.0%	53
無回答		0.2%	2
		100.0%	756



**Q11** スタートアップには、お金・人材・情報・技術などが集まると言われています。本市では、スタートアップへの支援などを通じて、モビリティ(人・モノなどが移動しやすくなる)の分野でのイノベーションを促進し、企業の経済成長だけでなく、様々な形で横浜の魅力を高めたいと考えています。「出かけたくなる街」としての横浜の魅力を高めるために、あなたが必要だと思うテクノロジー(科学技術)がありましたら、記入してください。(単一選択)

n = 756

ア	移動の費用(交通費)を安くするテクノロジー	14.0%	106
イ	多人数や多くの荷物を目的地までスムーズに移動できるテクノロジー	15.9%	120
ウ	年齢や障害の有無等に関わらず安全に移動できるテクノロジー	58.3%	441
エ	長距離でも快適に移動できるテクノロジー	9.0%	68
その他		2.8%	21
無回答		0.0%	0
		100.0%	756



その他(抜粋)

B to C(企業と個人の間で行う取引)やB to B(企業から企業への企業間取引)の配送の最適化。タクシーとバスの合間のモビリティ、自動運転。

坂道や移動の高低差を克服するテクノロジー(坂道をパスできるきめ細かい交通手段、斜面沿いにあるビルのエレベーターを活用し地域に開放、負担なく坂道を登れる筋肉増強アイテムの開発など)

(抜粋)

市内に新興企業ができることは、市や地域の活性化につながるもので、何ができるかはともかく応援したいと思う。

スタートアップを応援するのは良いが、何でもOKではなく、ビジネスのポテンシャルとか、ビジネスプランとか、地に足のついたものかどうかなど見極めは必要。また、いつまでを「応援」期間にするのかも大事だと思う。モニターや実証実験への参加も代償の有る無しより、興味があるかどうかに関わってくると思うので、興味を持たせるマーケティングができるかどうかポイントだと思う。

横浜市でどのような取り組みを進めているのか、ほとんど知らなかった。もっと広報した方が良いと思います。

移動は高齢者や障害のある人にとっては、大きな意味を持つ。スムーズに移動できるテクノロジーには期待しているが、もっと大切なのは安全に移動できるということ。これを抜きにしてはいけない。

横浜港の開港に伴い、国内外から起業家精神あふれる多くの人々が集まり、横浜の急速な発展が支えられてきました。このような歴史的背景、そして地域の気風を考えると、横浜が起業家・スタートアップ支援に取り組むことは極めて妥当と感じます。また、起業家・スタートアップ支援により、間接的に多くの問題解決に寄与することになり、本市の魅力は向上していくものと思います。

認知度をあげるPRを増やしたら良いと思います。関内など、スタートアップの街として街全体でPRすると良いと思います。

スタートアップ支援をすることで、起業しやすい地となれば、多くの若手企業家が集まり、活気付くと思います。

インターネットの恩恵で、情報や技術はあっても、資金や人材に泣く起業家が多いと思います。横浜市は、東京に隣接しているロケーションや知名度からも、起業家にとって魅力ある場所ですし、支援は大きな安心となるでしょう。また、そうして横浜市で育った企業やテクノロジーが大きく貢献してくれる将来も期待したいです。

若い人に限らずアイデアのある人はどんどん挑戦したら良いと思う。

新たな取組が行われることで街が活性化すると思います。むやみに税金を投入するのは反対ですが、可能性があるものについては応援したい。